

分野別意見交換会報告書【文教常任委員会】

開催日時：令和7年（2025年）5月14日（水）14時～15時30分

開催場所：箕面市役所本館3階 委員会室

団 体 名 箕面市内農業者、給食調理業務委託業者（3社）

出 席 者 箕面市内農業者4名、給食調理業務委託業者4名

出席議員：桃山委員長、増田副委員長、木下委員、金森委員、久野井委員

傍聴者数：10名（委員外議員10名）

テ ー マ 箕面市の学校給食について～地産地消を進めるために～

番号	項目	内容
1	農業者との意見交換について	<農業者の取り組みについて> ・子ども達や現場からの『おいしい』の声を支えに、安心安全な美味しい野菜作りを心がけている。 ・箕面市内の小学5年生を対象に農業体験を行い、農業にふれあう機会を設けている。 ・学校給食担当者が農家へ直接訪問し、情報交換を行い、収穫に合わせて発注を行っている。
2		<農業者の考える課題について> ・学校へ出荷するまでに時間を要するため、葉物野菜は傷む等の理由から提供が困難 ・毎週火曜日に次週の野菜依頼が来るが、葉物野菜は気候により状況が変わるので、献立に合わせる事が困難 ・学校給食の野菜は買い取り価格が決まっているため、取引価格の高額な業者へ出荷されやすいのではないか、また時期によっては他県産の方が安いときがある。 ・高齢化による後継者問題、人手不足の課題がある。 ・定年年齢が延び、定年後に農業に従事するのは難しく、農業人口が減少傾向 ・畑の所有者は土地活用（マンション等）への移行が増えているため遊休農家が増加。（新規就農業者が畑を利用してけるとありがたい。）
3		<農業者からの要望について> ・自分が作った野菜がどの給食で使用されているのか、生産者に分かるように一覧表が欲しい。 ・給食献立が事前に分ければ葉物野菜も提供可能になるため、献立表は3～4ヶ月前には欲しい。 ・学校へ納品時に野菜を傷つけないためにも通い箱がほしい。

番号	項目	内容
4		<給食調理業務委託業者の取り組みについて> ・箕面産野菜を使うことで、使用する野菜の種類が増え、品数が増える。 ・子ども達が箕面産の野菜に興味を持ち、食育にも有効 ・箕面市は他市に比べ、地産地消率が高く、箕面市の給食の質や対応、考え方について他市からの評価も高い。 ・箕面市は食育への取り組みが進んでいる。 ・店舗に並ばない野菜を調達し、調理工夫を行っている。 ・新鮮な野菜は土や虫が付着しているため調理工程が増えるが、子ども達に喜んでもらえるように日々努力している。 ・野菜の種類を考えて献立を作成し、地産地消を減らさないようにしている。 ・納入数に変動はあるが、農家との連携で安心安全に給食提供が出来るようにしている。
5	給食調理業務委託業者との意見交換について	<給食調理業務委託業者の考える課題について> ・野菜の種類が多いとその分の下処理工程が増える。 ・提供時間が決まっているため、学校の授業内容等で提供時間に変更がある場合は、調理員を増員して対応している。 ・農家と委託業者間での情報交換が難しく、今後、交流出来たら葉物野菜等、使用できる野菜の幅が広がる。 ・廃棄率を減らし、納品された野菜を少しでも多く子ども達に届けたい
6		<農業者からの要望について> ・子ども達にも調理場面見学等の機会を設けてほしい。 ・野菜が過度に大きいと調理員の負担になるため、適度な大きさの物が欲しい。 ・今後、SDGSの観点から皮付き野菜の提供も検討したい。